

効果的な ICT 活用実践研究校 藤江小学校 3学期のまとめ
第2学年生活科
単元名 自分はっけん～自分のことをもっと知りたいな～



PLAN

(教材研究→学びづくり案)

子どもたちが自分の成長に興味をもって、成長をまとめ、成長に気付くことができる授業を行いたい！
子どもが自分で表したい方法でまとめ、成長に気付いたり、これからの生活に意欲や自信をもったりすることができる授業にするにはどうしたらよいだろうか？

〈校内で協議〉



「成長に気付く」ところが難しいね。どのような手立てが必要になるかな。

「成長に気付く」ためには、過去と現在を「比べる」のがポイントになりそうだね。教科書にインタビューや写真を見る方法が書いてあるけど、このほかに何かあるかな。



成長したことや成長の過程を写真や動画を使ってまとめると、視覚的に成長を実感しやすくなりそうだよ！

成長をまとめる活動でICTを活用できそうだね。ロイロノートやスライド、アルバムなどいろいろな方法から子どもたちが選べるようにするといいね！



自分のよさや成長をいろいろな視点から考えることができるようにしたいな。まずは、自分自身のことを振り返ったり、友達とよいところや頑張ったところを交流したりしてみよう。
でも、いくら言葉で成長を振り返っても実感しにくいのではないかな。写真や動画などで振り返ると、成長をより実感することができるかもしれない。ここにICTを活用できないかな。

授業者



〈学びづくり案で具現化〉

【授業のポイント】

・振り返りやインタビューなどを通して自分の成長について調べたことを、ICTを活用してまとめることで成長を実感する。

【単元の内容が身に付いた子どもの姿】

・自分の成長について振り返り、今後の生活の目標を持つことができる姿。

【効果的なICT活用】

- ・どんなところが成長したか、どのように成長してきたか調べ、カードにまとめたり、写真や動画を保存したりすることで成長を視覚的に振り返ることができる。
- ・カードなどの情報、写真や動画を整理する場面等で、修正を繰り返しながら、自分の成長をまとめることができる。



授業者

学習活動

自分が表したい方法で、自分の成長を「自分 はっけん」にまとめよう!

成長を調べる

1. 自分自身で生活や成長したことを振り返ってカードにまとめたり、友だちとお互いのよいところを伝え合ったりする。

よいところやがんばったところがたくさん増えてうれしいな。もっと自分の成長を調べたいな。

<p>🌟はっけん! [] のすてき🌟</p> <p>【すごいところ】 1. 「これやめて。」と言われてたらずやめられるところ。 2. 神数がとくいなこと。 3. 人にやさしいこと。</p> <p>【がんばったこと】 1. 先生の話をよく聞いて、やることをやったことです。 2. 友だちとみなよくすることです。 3. 九九をがんばったことです。</p> <p>【よいところ (長所)】 1. 友だちにやさしくしたこと 2. 計画を立てて、しゅくだいをする 3. きまりをまもること。</p> <p>【せい長したところ】 1. 工作のうまさ 2. 字がきれいになった</p>	<p>🌟はっけん! [] さんのすてき🌟</p> <p>【すごいところ】 まわりのことにきがついていいね。 しせいがいいね。</p> <p>【がんばったこと】 百マスをがんばっているね。 しせいをがんばっているね。</p> <p>【よいところ (長所)】 人にやさしくしているね。 みんなにやさしくしているね。</p>
--	--

2. 家族にインタビューし、自分の成長について分かったことをカードにまとめる。
3. 家族以外で自分の成長を知っている人にインタビューする計画を立てる。
4. 家族以外の人にインタビューし、分かったことをカードにまとめる。
5. まとめたカードや写真を見て成長に気付く。

<p>📄自分のはっけん インタビューカード📄 お母さんにインタビューしました。</p> <p>【いつごろのことですか】 3歳のころ。</p> <p>【どんなようでしたか】 おしゃべりがようすで、でも、はずかしがりやでした。外遊びが大好き。</p> <p>【どんなことを思いましたか】 元気に大きくそだってほしいと思いました。</p> <p>【今の自分へのメッセージ】 おべんきょうができるようになった。お友だちもたくさんできた。</p>	<p>📄自分のはっけん インタビューカード📄 [] 先生にインタビューしました。</p> <p>【いつごろのことですか】 6さい</p> <p>【どんなようでしたか】 あそんでるとき</p> <p>【どんなことを思いましたか】 たまにけんかしてたけどだれかこけたりするとういじょうぶといわれるやさしい子だった。</p> <p>【今の自分へのメッセージ】 今はもうこんなに大きくなったんだな</p>
--	---



インタビューをたくさんすると、自分が知らない自分を知れて楽しいな。インタビューした相手ごとにカードにまとめておこう!

成長をまとめる

6. 調べてきたことを基に、自分が表した方法で「自分 はっけん」の作品にまとめる。
7. 成長が伝わりやすい作品にするために工夫しながらまとめる。
8. 作品を見た人に、自分の成長が伝わりやすい作品にするために、友達と作品を見合い、意見交換をする。
9. 友達からもらった意見を基に、修正を加え完成させる。

はじめ【なんの話か】
自分のせいちょう
2, 3さいのときから2年生までのせいちょう

中【せい長をくわしくせつ明】

【いつのこと】
2か3さいのとき

【ようす（すきだったこと・ハマっていたこと・うれしかったこと）
たっぷりあるいたりできてうれしかった。

中【せい長をくわしくせつ明】

【いつのこと】
1年のとき

【ようす（すきだったこと・ハマっていたこと・うれしかったこと）
絵をかきこと
じゆぎょうでいろいろのことをしてうれしかった。

かうしゃしんや絵
3さいのときのしゃしん

中【せい長をくわしくせつ明】

【いつのこと】
うんどう会のとき

【ようす（すきだったこと・ハマっていたこと・うれしかったこと）
いろいろのことができてうれしかったです。

【つかうしゃしんや絵】
1年のときのしゃしん

【つかうしゃしんや絵】
うんどう会のときのしゃしん

おわり【まとめ（3年生にむけて）】
3年生でがんばることを書く。



どの順番で説明したら、成長が伝わりやすいかな。

交流する

10. 自分の成長を友達と交流する。

〈修正を繰り返すための活用〉

【児童の振り返りより】

- ・「いつ」のことが分かるようにすること、間の順序に気を付けてまとめることを工夫しました。
- ・アニメーションを付けて楽しい雰囲気になったけど、もっと分かりやすくするために、写真を貼ったり、説明する文章をたくさん書いたりしたいです。
- ・1つのページの写真やアニメーションにこだわってしまい、作品づくりが進みませんでした。早めに全体を終わらせて、それからこだわりたいところを丁寧に直していくとうまくいくと思いました。
- ・スライドを使うと、写真で赤ちゃんの時の様子がすぐ分かるし、アニメーションをつけると楽しい感じやその時の気持ちを動きにして表現することができて面白いと思いました。

【児童の作品】



自分のせいちょう 2年

春ちゃんのころ
 このころは、いろいろな先生に教えてもらって、いろいろなことを学んでいました。先生は、いろいろなことを教えてくれて、とても優しくしてくれました。先生のおかげで、いろいろなことを学べました。先生は、とても優しくしてくれました。先生のおかげで、いろいろなことを学べました。



ほいくえんのころ
 たまにけんかもしてたけど、だれかがこぼれたりすると、だれかおぼれちゃうと、やさしいこたつたそうす。ほいくえんのころねんどもをしてあそぶのが好きでした。親友の家であそぶのがおもしろかったです。今もねんどもが大好きです。



自分せい長

自分せい長

自分せい長

自分せいちょう



2さいのころだよ。このころは、うごくことが好きで、アンパンマンにはまっていました。昔の大きさは、まぐろくらいだったよ。

今は、サバイバルゲームが大好きだよ。

3さいだよ。このころは、いっしょに遊ぶのが好きで、お友達と遊ぶのが大好きでした。今は、せんがきりくわいのが好きです。

今もゲームが大好きだよ。

4さいだよ。このころは、ほいくしよで遊ぶのが好きで、友達とあそぶのが好きでした。今は、せんがきりくわいのが好きだよ。

今は、学校の勉強が好きだよ。とくに、算数や、国語、英語が大好きだよ。

自分せい長

自分せい長

自分せいか

三年生にむけて

1年生だよ。このころは、バットとボールが大好きで、みんなとあそぶのが好きでした。今は、せんがきりくわいのが好きだよ。

今でもバットとボールが大好きだよ。みんなとあそぶのが好きだよ。

2年生だよ。このころは、算数の問題を解くのが好きで、みんなとあそぶのが好きでした。今は、せんがきりくわいのが好きだよ。

今でも算数の問題を解くのが好きだよ。みんなとあそぶのが好きだよ。

これまで人にやさしくできたり、ちょっと人がいやなこともしてしまったり、へんがきりくわいのが好きで、みんなとあそぶのが好きでした。今は、せんがきりくわいのが好きだよ。

今でも人にやさしくできたり、ちょっと人がいやなこともしてしまったり、へんがきりくわいのが好きだよ。

3年生にむけて。3年生になると、もっと勉強が難しくなるから、みんなとあそぶのが好きで、みんなとあそぶのが好きだよ。

今でも人にやさしくできたり、ちょっと人がいやなこともしてしまったり、へんがきりくわいのが好きだよ。

Check (分析・評価)

〈全体協議～ICTの活用が、児童の学びに効果的なものとなっていたか～〉

子どもが表現方法を選ぶことのできる環境になっていて、意欲的にまとめているね。

ICTを活用してまとめている児童の作品は視覚的に分かりやすくなっている反面、紙媒体で作っている児童より自分の言葉で説明する部分が少ない児童がいたよ。教師が見取って声掛けをすることが必要だね。

これまでロイロノートでまとめたインタビュー内容が、作品づくりの手掛かりになっていたよ。

子どもたちは、どのくらい過去の自分と比べ、成長を実感することができていたかな。

「何か成長に気付いた？」などの声掛けをすることが必要だね。

表現方法が違っていると、進度の差が大きいね。

学習のねらいに応じて、学校で行うことと、家で取り組むことを分けることで進度の差が生まれにくくなるのではないかな。



Action

(次年度に向けての改善)

<3学期研究授業・協議から>

○ 個別最適な学びを行うために

- ・ 子どもが自らの興味・関心, 特性等に応じて表現方法を選択できるようにする。他の単元でも, 子どもたちが自分の考えを表現することができるようにする。

<今年度のICTパイロット校の取組から>

○ 教師がICTをより効果的に使うために

- ・ 引き続き, 教材研究を重ね, 何のために学ぶのかを明確に持つとともに, 児童のつまずき等, 実態を把握する。また, 学習のねらいを達成するために「いつ・どの場面で・どのように活用するのか」を意識して授業づくりをする。

○ 児童が自らICTを利活用できるようにするために

- ・ ICTのよさを児童が実感できるよう, ICTを使いながら, その機能の良さについて考え, 共有する。
- ・ 総合的な学習の時間等の授業で, 生徒が自ら選んだICTツールを使ってじっくり表現したり, 作成したりする場を設定する。
- ・ 教材や自身の行動を基に, ICTのよりよい使い方について考える機会を持つ。